

**「取材案内」 尼崎中央公園に所在していた「鉄鋼戦士像（工業の神）」が
歴史博物館の前庭に移設されます**

1 概 要

阪神尼崎駅北側の尼崎中央公園に所在していた「鉄鋼戦士像（工業の神）」が、同公園のリニューアル工事に伴い、同公園から尼崎市立歴史博物館の前庭に移設されます。移設作業は令和6年7月29日（月）に行いますので、当日はぜひ取材にお越しくください。

2 「鉄鋼戦士像（工業の神）」の概要

「鉄鋼戦士像（工業の神）」は、工都尼崎にふさわしいシンボルをと、尼崎ライオンズクラブが創立15周年記念事業として彫刻家・胡本蟹平に制作を依頼したもので、1972（昭和47）年11月22日に除幕式が行われました。清荒神で美術品店を営んでいた作者の胡本蟹平は、「弁慶の下駄」や「マッカーサーのコーンパイプ」など、変わったものを売っている美術品店の店主として、1990年代にはしばしばテレビ番組にも登場していた著名人でした。

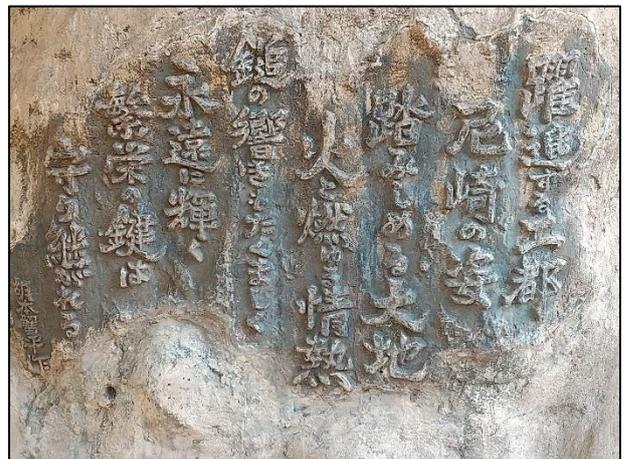
像はまるでギリシャ神話の神のような容姿で、逆立った太い髪が印象的です。また、左手にはやっここを持ち、右手はハンマーを高く振りかざし、両足を前後に踏ん張って今にもハンマーを振り下ろしそうな躍動感あふれる風貌です。そして、像が建つ台座には「躍進する尼崎の姿 踏みしめる大地 火と燃ゆる情熱 槌の響きもたくましく 永遠に輝く 繁栄の鍵は 守り継がれる」との胡本作の碑文が刻まれています。

高度経済成長末期に製作され中央公園に鎮座したこの像は、まさに工業都市尼崎のシンボルとすべき存在ですが、実は制作当時、この像の碑文に対する批判がありました。それは、像の序幕式を伝える某新聞記事が、「かみつかれた銅像“工業の神” 生産第一主義だ」の見出しで、公害病認定患者の方々から「工業生産主義一辺倒の無神経な表現」などとの批判が出ていると報道していることからうかがうことができます。製作から50年近く経た今となつては、このような物議があつたこともまた歴史の1頁であつたと言えるでしょう。

（令和元年5月発行『南部再生』第60号所収 桃谷和則「尼崎コレクション」より引用）



鉄鋼戦士像（工業の神）



台座の碑文

3 移設工事

- (1) 6月4日(火)に像と碑文を台座から取り外す工事を行いました。現在は、仮置きされています。(立ち入り不可)
- (2) 7月22日(月)から、移設先である歴史博物館前庭に新しい台座を築造する工事等を行います。
- (3) 7月29日(月)に歴史博物館前庭で像と碑文を移設する工事を行います。当日は午前9時から作業を開始し、午前10時までには像を新しい台座に移設する作業が始まる予定です。当日の取材をどうぞよろしくお願いいたします。なお、当日雨天の場合、作業が中止になる場合があります。

※当日ご取材いただける場合は、7月26日(金)までに下記担当までご連絡をお願いします。

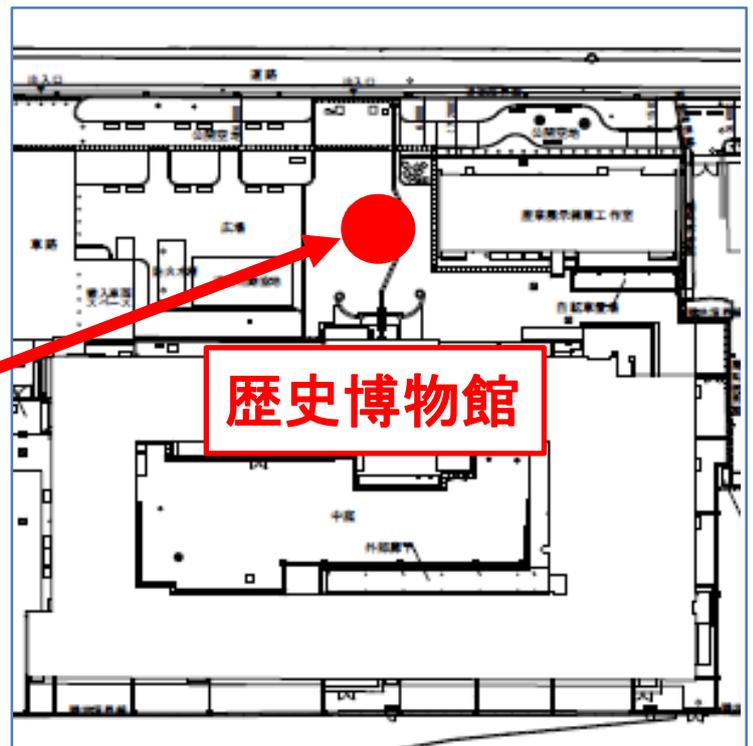
- (4) 8月1日(木)まで作業は続き、8月2日(金)から公開します。
- (5) 7月22日以降は予定ですので、天候等の都合で工程が変更される場合があります。この場合、取材申込社には直接、下記担当より連絡いたします。

4 移設先

歴史博物館正面玄関前の円形植込みの中央に移設します。工業都市尼崎のシンボルが、歴史博物館のシンボルとして、来館者や前面遊歩道を歩かれる人びとに、広く見ていただくことができるようになります。



植込み内の樹木等を除去し、新しい台座を築造して、その上に像を設置します。碑文は台座にはめ込みます。



5 担当

尼崎市立歴史博物館 学芸員 桃谷和則

〒660-0825 尼崎市南城内 10 番地の 2

電話 06-6489-9801 FAX 06-6489-9800

メール momotani-kazunori@city.amagasaki.hyogo.jp

以上